

「片瀬・鵜沼・辻堂の地名に迫る！」

藤沢地名の会 布施克彦

第2回:片瀬の地名について

(2024年7月10日放送)

Q1「片瀬」にはどのような小字があるのか

旧大字片瀬には、江の島地区を除き18の小字があります。地区の東側は片瀬丘陵(山)でそれに関わる山、谷の地名。あと、地区の西境を流れる片瀬川に関わる地名。あと砂丘の無人地帯だったことを思わせるような地名がある。

Q2 それぞれの小字の由来について

(片瀬丘陵の地名:猪ヶ谷・北の谷・赤山・下ノ谷など)

まずは地区東側片瀬丘陵にある地名。1950-60年代にゴルフ場、その後宅地開発で地形が変わった。最高所の赤山(白百合)、あと猪ヶ谷の説明

(片瀬川流路の変遷と関連する地名:川袋・浪合・鯨骨など)

片瀬川の西側にはみ出している上山本橋の東側江ノ電の線路まで、今も片瀬という住所表示。その西の川袋は今は鵜沼地区。蓮池。あと鯨骨、浪合

(諏訪神社関連や集落の変遷を物語る地名:宮畑・新屋敷)

宮畑の説明(新屋敷橋から片瀬中学に至る道の北側)。新屋敷(道路の南側)

新屋敷の南の、西ノ原、西方は川沿い砂地の無人地帯のイメージ